



令和7年11月7日

担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 20歳代 女性
届出年月日	令和7年11月5日
経過	10月30日（木）腹痛 10月31日（金）医療機関受診 11月 1日（土）水溶性下痢 血便 腹痛 医療機関入院 検便 11月 5日（水）検便の結果 O157ペロ毒素（+） 主治医から届出 現在、回復傾向です。

プライバシーの保護については、十分にご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和7年11月 6日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和7年	18名（6名無症状含む）	36名（14名無症状者含む）	本患者含む
令和6年	11名（2名無症状者含む）	27名（11名無症状者含む）	
令和5年	15名（2名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症は夏季に多く発生しますが、一年を通して発生があります。
- ・ 調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・ 食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が大切です。
- ・ 特に、小さなお子さんや高齢者、抵抗力が弱い方は重症化しやすいので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないように気をつけましょう。
- ・ 腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。